

東海大学フィルハーモニック☆たかなわ

サロンコンサート

東海大学高輪地区地域連携活動

文学と音楽

文学部知のコスモス 第4回（旧「知のコスモス」から通算第357回）

ベートーヴェン特集

アテネの廃墟序曲

女神ミネルヴァの驚愕

レオノーレ第3番

戦うヒロイン

交響曲第3番

ある英雄の思い出

指揮とお話 神田典城

演奏 東海大学フィルハーモニック☆たかなわ

写真：静岡県日本平の日本武尊像（撮影：天爵露城）

2018年12月1日（土）15：30 開演
東海大学高輪校舎4号館地階食堂コメドール

入場無料・予約不要

問い合わせ先 tokai.ob.orchestra@gmail.com

東海大学OB管弦楽団事務局：東海大学湘南校舎3号館4階文学部日本文学科第6研究室（志水）

企画：東海大学文学部日本文学科第6研究室・東海大学OB管弦楽団・協力：東海大学高輪校舎

東海大学フィルハーモニック☆たかなわ サロンコンサート

2008 年、東海大学エクステンションセンターの特別企画として始まった高輪校舎でのサロンコンサートも十年目を迎えて、東海大学の高輪地区地域連携活動の一環として、いまでは暮れの風物詩の一つとなりました。昨年从高輪校舎のエクステンションセンターが湘南校舎の地域連携センターに移行したので、文学部の「知のコスモス」企画として「文学と音楽」をテーマに再スタートしました。今回も同じテーマで、ベートーヴェン特集を組みます。キーワードは「英雄」。文学作品には数々の英雄が登場しますが、音楽で「英雄」といえば、ベートーヴェンの交響曲第3番がまず思い浮かびます。直筆楽譜の表紙に「ボナパルトに捧ぐ」と記された献辞が荒々しく消され、「ある英雄の思い出のために」と書き直され、それゆえ「英雄」と呼ばれる50分以上に及ぶ大交響曲です。そして3番つながりでベートーヴェンの唯一の歌劇作品『フィデリオ』のために作られた4つの序曲の中の一つ、「レオノーレ第3番」。この歌劇は恋人を助けに男装する女性の活躍。「戦うヒロイン」です。戦うヒロインもまた文学作品には、とくに最近、多く登場します。

はじめに演奏する「アテネの廃墟」は劇付随音楽、つまりお芝居の伴奏音楽ですが、なかなかどうして。短いながらもこの序曲は芝居の始まるわくわく感に満ちた曲です。このお芝居は、ソクラテスに嫉妬して封印されていた知の女神ミネルヴァが2000年の長い眠りから覚めてみるとアテネはもはやトルコの支配下廃墟と化していて、愕然。そしてメルクリウスとともにハンガリーにむかうというお話だそうです。

マエストロ神田のお話と指揮で演奏は東海大学フィルハーモニック☆たかなわ。12月1日(土)午後3時半、日本文学科志水教授の司会で東海大学高輪校舎にて開演です。

東海大学フィルハーモニック☆たかなわ (東海大学 OB 管弦楽団)

2003 年、東海大学文化部連合会管弦楽研究会(現在 東海大学管弦楽団)の OB によって結成された東海大学 OB 管弦楽団のメンバーを中心に、「ゆみの会」のメンバーや音楽好きの東海大学 OB とその仲間たちによって2006年に再編成されて演奏活動を行っている新生東海大学 OB 管弦楽団。演奏のときには東海大学フィルハーモニック室内管弦楽団を名のっています。2012年には浦安シティオーケストラ・品川管弦楽団のメンバーの協力で編成を拡大して「東海大学フィルハーモニック☆たかなわ」の名称でベートーヴェンの交響曲第9番を演奏しました。以降、ロマン派の曲を演奏するときには、この名称を使っています。

楽団ホームページ <https://tokai-u-philharmoniker-ob.jimdo.com/>

常任指揮者：神田典城

3歳からヴァイオリンを始め、10歳からヴァイオリンスクールの演奏会で合奏の指揮を始める。学習院大学在学中、音楽部の管弦楽団および合唱団で学生指揮者またコンサートマスターとして活躍。卒業後、学習院のOB管弦楽団で指揮者、首席奏者として活動。その後、第一勧銀管弦楽団(現、みずほフィル)の常任指揮者、学習院ジュニアオーケストラのアンサンブルトレーナーを歴任。2006年から東海大学OB管弦楽団の合奏指導にあたる。

東海大学高輪校舎へは……

JR・京浜急行「品川駅」下車、高輪口より徒歩約18分(改札より右方向(田町方面)に進み、「高輪2丁目」交差点を左折)

JR・京浜急行「品川駅」下車、高輪口より都バス「目黒駅行」に乗り「高輪警察署前」下車、徒歩約3分

東京メトロ南北線・都営地下鉄三田線「白金高輪駅」下車、出口1から左に進み、徒歩約8分

都営地下鉄浅草線「泉岳寺駅」下車、A2出口より徒歩約10分

※目黒駅または五反田駅・品川駅からタクシーも便利です(1000円前後)。